

イブニング サロンNEWS

2008 4/25 第9号
(年6回発行)

イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行
「イブニングサロンNEWS」を発行する会
(事務局・東方通信社)
TEL:03-3518-8844

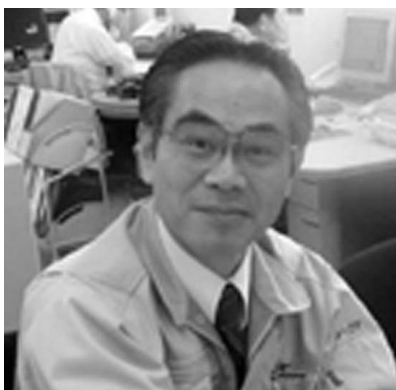
ビジネスチャンス拡大させる 業務改善&経営革新法

4月26日(金)、第18回目の「新都心イブニングサロン」が行われる。今回のテーマは「業務改善」。どの企業も抱えている悩みのタネではないか。業務改善でビジネスチャンスを拡大、業績をV字回復といきたいところだ。

毎日の3S(整理・整頓・清掃)が マインドを磨き、経営を変えていく

枚岡合金工具

鍛造部品用金型の設計や製造を手がける枚岡合金工具は、取得が困難なISO9001を独力で構築するほどの技術力を持ち、大手企業からの信頼も厚い。古芝保治社長は「特別なことをやっているわけではなく、『3S—整理・整頓・清掃』に



3Sを大事にする古柴社長

力を入れてきただけ。でもこれらは経営の基本であり、人生の基本。ウチでは毎日、朝礼でこの経営理念を全員で唱和し、その後、全員で床の掃除を行います」と話す。こうした基本的なことを通じて「相手主義」となり、自然と魂のこもった金型造りができるようになるという。

この3S精神が行き渡った同社工場が圧巻で、まさに徹底的に効率化されたシステム工場といったところだ。見た目がキレイなことはもちろん、リサイクルによるゴミゼロ化も実現。また、いつでも誰でも必要なモノがすぐに取り出せるように工夫がされており、ムダな作業時間を削減できるようなっている。ある大企業が同社の工場を視察した際、その徹底した配慮ぶりに驚嘆したほどだ。

現在はこの3Sノウハウをいかしたデジタル書類管理システム『デジタルドールフィン』も開発。シンプルな操作ながら、膨大な書類から必要なモノを探してくれる優れものだ。

さらに古芝社長は、先月『儲けとツキを呼ぶ「ゴミゼロ化」工場の秘密』(日本実業出版社)を出版。「誰でも実践できるノウハウが書かれています。参考にしてもらったら嬉しい」と話す。経営革新のヒントが見つかるかもしれない。

大阪市天王寺区烏ヶ辻2-1-2
TEL 06-6772-2021
<http://www.sg-joy.com/>
[http://hiraoka.keikai.topblog.jp/index.html\(社説「ロク」\)](http://hiraoka.keikai.topblog.jp/index.html(社説「ロク」))

加工から組立まで行う 高付加価値のパーツメーカー

浦和製作所

現浦和製作所は、昭和15年に研削加工を中心に浦和市（現さいたま市）で創業。その後、堅調に発展し、今ではマシニングセンタによる切削からボールネジナットなどの精密機械部品加工、その他自動車部品加工、試作品の製作から量産まで手がけるようになった。高付加価値を提供できるパーツメーカーとして躍進している。主力の前橋工場では、電動および油圧式パワーステアリング、ギア、ケースなど自動車部品を製造。



高い技術でつくられた同社製品



大きな夢をもつ森谷社長

さいたま市の本社工場と高崎工場では、主にボールネジナット、リニアガイド・ベアリングなどの精密機械部品を製造している。

森谷行雄社長は「加工から組立まで行えるのがウチの強みです。試作品製作などで、メーカーの開発をサポートすることもできます。近年はコストダウンへの取組みが課題になっていますが、さまざまな受注に対応できる生産体制を構築しています」と話している。

埼玉県さいたま市浦和区本太2-19-24

TEL 048-882-5615

[http://www.urawa-](http://www.urawa-seisakuho.co.jp/)

[seisakuho.co.jp/](http://www.urawa-seisakuho.co.jp/)

「人財」育成に力を入れて 地域活性化にも貢献

千田精密工業

「社員が伸びることが喜び、ウチを踏み台にして独立するぐらいの気概を持つてほしい」と話すのは千田精密工業の千田伏二夫社長。半導体製造装置部品や自動車関連の特殊部品などを手掛けており、なかでもF1用レース車両に搭載するエンジンや気化器の精密部品では1000点以上も供給しており、その技術力は世界レベルに達している。

また「人財」育成にも定評がある。社員にはまずは基礎技術をシッカリ習得してもらい、成長にあわせてアルミ、ステンレス、チタンなど加工難度の高い材料の微細加工を指導していく。こうした丁寧な指導により、切削や旋盤加工からアルミ研磨、表



人材教育に力を入れる千田社長



この工場で世界的な製品がつけられている

面ブラスト処理、さらには装置部品の組立まで対応できる技術者が多数いる。

また、企業内起業も活発で、すでに8人が独立をはたしている。「起業が盛んなれば、地域も活性化します。そうやってみんなが幸せになれることを目指しています」と千田社長。岩手の世界企業から目を離せない。

岩手県奥州市前沢区五合田19-1
本杉工業団地内

TEL 0197-56-2464

<http://www.chidaseimitsu.com/>

アピールコーナー

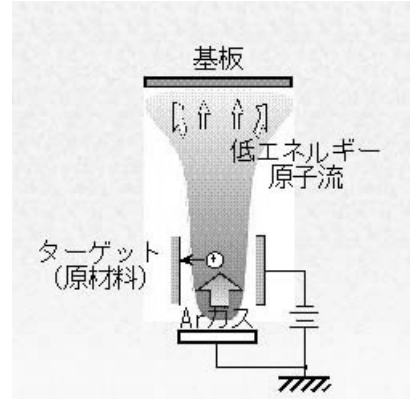
宇都宮大学工学部 石井清教授



石井教授

ガスフロースパッタ法による薄膜作製技術で エレクトロニクス分野への応用を目指す

石井教授の専門は電子材料学、薄膜工学、応用磁気工学で、「ガスフロースパッタ法」の開発と応用をテーマにしている。「ガスフロースパッタ法」とは、石井教授の研究室が考案した薄膜作製技術のことで、アルゴンガス中で原子をソフトに堆積して薄膜を成長させるというもの。その特長を活かして、固有なナノ構造の形成技術を発展させ、エレクトロニクス分野への応用を目指している。



問い合わせ
栃木県宇都宮市陽東7-1-2
宇都宮大学工学部電気電子工学科
TEL:028-689-6090
<http://www.ee.utsunomiya-u.ac.jp/~ishii/index.html>

埼玉県総合 リハビリテーションセンター

介護からリハビリまで 障害者の自立を支援

検索のページ 使い方ガイド J サイトマップ M

埼玉県トップページ・埼玉県総合リハビリテーションセンター

埼玉県総合リハビリテーションセンター
Rehabilitation Center

当センターはリハビリテーション病院と指定障害者支援施設と身体・知的障害者更生相談所があり、総合的なリハビリテーションサービスを提供しています。病院には回復期リハビリ科を設置し、経験豊富な医療スタッフによる高度なリハビリテーション医療や整形外科手術（人工関節置換術等）を行っています。

利用者の主な疾患名：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳外傷、脊髄・頭脳損傷、パーキンソン病、ALS、神経難病、股関節・膝関節

利用のご案内

- ・外来診療・入院・宴会について
- ・障害者支援施設の利用
- ・健康増進施設の利用
- ・各種ご相談
- ・交通案内
- ・個人情報保護に関する取扱い

情報

- ・リハビリテーションセンターより

障害者に対するリハビリテーション活動の中核施設として昭和57年に開所。相談から医療・職能訓練、社会復帰まで総合的なリハビリを展開している。リハビリテーションの技術向上をはかるための研究・研修事業にも力を入れている。

障害者自立支援法の施行により、障害者への支援は大きく変化しており、同センターへの期待も大きくなっている。

問い合わせ
埼玉県上尾市西貝塚148-1
TEL:048-781-2222 FAX:048-781-1552
URL:<http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BE01/rihasen/>

野長瀬教授の新コーナー

『コロンブス』で好評連載中!!

イブニングサロンの世話人をつとめる野長瀬裕二・山形大学教授の新コーナー「野長瀬裕二のモノづくり通信簿」が、月刊「コロンブス」07年12月号からスタート。元気なモノづくり企業の工場、現場取材し、その企業の成長意欲、独自性、営業努力、モノづくり、研究開発、事業企画、経営資源、雇用創出を総合的に採点している。このコーナーでは、イブニングサロンに参加している元気企業が多数登場している。第1回目(12月号)は金型レスの技術で抜きん出ている(株)井口一世。第2回目(1月号)はパッケージ技術の雄(株)川島製作所、第3回目(2月号)は自動制御機器の(株)アド

テックス、第4回目(3月号)はソフト分野で躍進する(株)メディアファイブ、第5回目(4月号)はNPOで絵本づくりも手がける田中産業(株)。企業が成長するヒントが得られると好評連載中。取材を希望する企業は「コロンブス」編集部まで

野長瀬教授の目利きが光る



野長瀬教授の目利きが光る

イノベーション・パートナーズが「イノベーション塾」を開塾

NPO法人イノベーション・パートナーズ(さいたま市、野長瀬裕二理事長)では、経営者たちが新技術・新製品、海外進出などの考え方・手法を学んで飛躍できるよう「イノベーション塾」を2月に全3回(8日、15日、29日)開講。29日に最終日を迎え修了式を行った。参加した“塾生”は約20名。講師陣は急成長しているソフトメーカーであるメディアファイブ北畠謙太郎社長や医療機器開発で急進するベトナム出身のメトラン新田一福社長など、専門分野を活かして活躍している経営者や研究者が揃った。



修了証を受け取る塾生たち

月刊「コロンブス」編集長の古川猛も「中国におけるパートナーの見つけ方」というテーマで28日に講演。前半で中国経済の歴史と現状を述べ、後半に中国人の特性について話した。受講者たちからは「本や雑誌には載っていない話が聞けてよかった」とおおむね好印象だった。「中国ビジネスは儲かる」というイメージが先行しているが、ビジネス優先では信用を築くことは難しい。地道な社会貢献こそよい中国パートナーを見つける近道なのではないか。なお、イノベーション・パートナーズでは、今後も同様の活動を計画中



ベトナムビジネスについて話す新田社長

サロン公式サイト アドレス変更しています

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」は、新都心イブニングサロン公式ウェブサイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第8号までアップしていますので、ご覧下さい。



サロン公式サイト

今後引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思ひます。新商品や新技術の開発や産学連携事業の開始といった新情報からご意見・ご要望までふるってお寄せください。

★新都心イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>
★東方通信社サイト
<http://www.tohopress.com>
問合せ：03-3518-8844 担当：滝口
e-mail：ryot@tohopress.com

月刊『コロンブス』が 元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンブス』(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元元気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。



「コロンブス」

問合せ TEL：03-3518-8844

★イブニングサロンの主な世話人
江田元之(財)さいたま市産業創造財団・理事長/星野弘志 埼玉県労働商工部新産業育成課・課長/村重嘉文(株)インテック埼玉・取締役会長/野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授/浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

★主な企画運営委員
山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長/江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長/古川猛 月刊『コロンブス』編集長(東方通信社)/根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長/柴田孝・米沢BNO副代表